

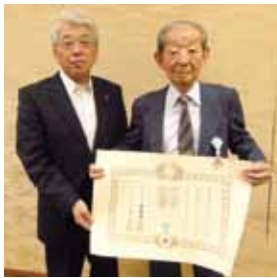
まちの あれこれ

いかがわせいご 五十川省五さんに瑞宝 双光章が授与

去る7月1日、六之井の五十川省五さんに瑞宝双光章が授与されました。五十川さんは、平成4年4月池田町議会議員に当選以来、平成20年3月まで4期16年の永きにわたり在職され、この間、議長をはじめ、副議長、監査委員、総務委員長など議会の殆どの要職を歴任されるなど町の発展に大きく貢献されました。

五十川さんが88才を迎えられるにあたり、これらの功績が高齢者叙勲の対象として認められ、今回の授与となりました。

去る9月3日、岡崎町長から勲記と勲章が五十川さんに伝達され、五十川さんは「町民の皆様のおかげでこのような名誉ある勲章を頂きましたことにお大変感謝しております。」と感想を述べられました。誠に改めてとうございませう。



今年で35回目となりました。 手をつなぐ親の会運動会

8月26日(火)、池田・神戸ライオンズクラブ主催の「手をつなぐ親の会運動会」が、池田町総合体育館で開かれました。

毎年恒例となりましたこの運動会も今年で35年目を迎え、池田町・神戸町のことばの教室、小中学校の特別支援学級、ふれ愛の家、西美濃の里、揖斐・大垣特別支援学校の児童、生徒や保護者、職員など350人が参加しました。

競技は、風船はこび、風船わり、パンくい競争など9種目が行われました。

「福ちゃん・ぎふと・ミナモの岐阜県学びラリー」を全制覇しました

8月24日(日)、池田温泉新館にて「福ちゃん・ぎふと・ミナモの岐阜県学びラリー」達成記念式典が行われました。

これは池田温泉とJAF(日本自動車連盟 岐阜支部)、岐阜県が企画した岐阜県内の22ヶ所の学び施設を見学するというラリーで小学生のお子さんを対象に6月1日から8月31日まで開催されていきました。そしてなんと！本県市在住の竹中惟乃梨さんがすべての施設を見学し、見事達成!!

竹中さんの感想では岐阜県歴史博物館が一番印象に残っているそうです。昔の人の生活が分かっているおもしろかったです。

玉入れ、つなひきは、池田町と神戸町による対抗戦で、両者譲らず熱戦が繰り広げられ、結果は両競技ともに1対1の引き分けとなりました。参加者は和気あいあいと楽しみ、笑顔がさんさんと輝いていました。



▲白熱したつなひき

たとか。

池田温泉からは「学びはかせ」賞状と池田温泉小人回数券綴り1冊が町長より贈られ、またJAF特製福袋、ミナモグッズがプレゼントされました。

岐阜県の学びはかせになった竹中さん！来年度もこの企画があれば次はあなたも「学びはかせ」?!ぜひ挑戦してみてくださいね。



▲「学びはかせ」になった竹中さん(中央)とJAF岐阜支部 森事務所長さん(右)

「和文楽を楽しむセミナー」が行われました

池田町社会教育課では、国際社会の時代の中で、自国の伝統的な文化に触れて理解を深めることを通して、国際交流において不可欠な自国文化を伝えるための力を育み、和文楽を守り伝える精神の涵養を目的に「和文楽を楽しむセミナー」を4回に分けて行いました。

第1回目に竹花入れ、第2回目に茶杓の製作を行いました。和文楽の一つであり、総合芸術とも言われる「茶道」の必需品の製作を通して、茶道の歴史や道具造りで培われてきた精神について学びました。

第3回目は岐阜市の「長良川うかいミュージアム」で岐阜県を代表する伝統文化である「長良川の鵜飼」の歴史的价值や自然と人とのつながりあう文化について学びました。また、通称「川原町」と呼ばれる界限で伝統工芸品作りの見学等も行いました。

第4回目は茶道の実践でお茶の点て方と飲み方、作法について学びました。製作した道具を使用しました。ちょっとした所作や作法等にも「おもてなし」の心が元にあることを学びました。

洋風化が日常的になった今日、伝統的な和文楽という固有の文化が持つ魅力を再発見することができました。



▲第4回目のセミナーの様子